

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		事業承継支援					所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	144	計画事業名	事業承継支援			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 33 産業を支える人材の確保・育成					[事業開始] 平成 29 年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		小規模事業者事業承継支援事業助成金交付要綱						
	事業対象	直接の対象 : 区内で10年以上事業を営み事業承継を行う予定の小規模事業者 最終的な対象 : 区内中小企業									
	事業目的	区内小規模事業者の経営基盤の強化と円滑な事業承継の促進									
	事業内容 [H30年度]	区内で10年以上事業を営み事業承継を行う予定の小規模事業者が、「事業承継計画」を策定し、その計画に基づき、店舗の改修や設備の購入等を行う場合に、経費の一部を助成する。 助成率 2分の1(商店街に加入している場合は3分の2) 限度額 50万円									
	委託の有無	一部委託	委託内容		相談業務委託						
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	事業承継計画策定相談支援延べ回数	回	40	-	38	36	40	90.0%		
	成果指標	助成件数	件	10	-	5	7	10	70.0%		
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度				
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	2,645	2,645				
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	0	0				
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	2,148	3,106				
		総経費			-	4,793	5,751				
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	0	0				
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	0	0						
一般財源(区負担額)			-	4,793	5,751						
課題及び今後の進め方	地域産業の維持・発展のために、事業承継は避けては通れない課題であり、支援策の必要性も高まってきている。平成29年度からスタートした本事業も、支援件数は、上向き傾向にあるが、まだ十分に活用されていない。更なる周知を進め、より多くの事業者への活用を促していく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	区内中小企業においても、経営者の高齢化が進んでおり、次世代への事業承継は喫緊の課題となっている。区内の小規模事業者においては、事業承継をスムーズに行うための早期の準備の必要性が増している。								
	効率性	3	区内小規模事業者に、事業承継のための早期準備を促すためのインセンティブとなる資金的支援として適正なコストとなっている。専門家のサポートを受けることで、適切な事業承継計画を策定することにも繋がっている。								
	手段の適切性	3	小規模事業者の事業承継に特化し、事業承継計画の策定から助成金の交付まできめ細かな支援を行う事業は、他にはないものである。								
目的達成度	2	助成件数は、目標件数には達していないが、増加傾向にある。事業者から問合せや相談は、一定数あり、今後、本制度の更なる活用により、区内事業者の円滑な事業承継への効果が期待できる。									
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
区内産業の維持・発展を図るために、中小企業の円滑な事業承継の促進は、課題となっている。特に区内事業者の大きな割合を占める、小規模事業者に対しては、早期準備を促すため支援が必要であり、計画づくりから、資金的支援までを行う本事業は、今後更なる活用が期待できることから、維持とする。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			